

平成 22 年定期総会議案書

日 時：平成 22 年 7 月 24 日（土）

午後 2 時～午後 3 時

場 所：神戸国際協力交流センター

特定非営利活動法人 都市災害に備える技術者の会

定期総会式次第

開会のことば

資格審査報告および総会成立宣言

議長選出

議事

第1号議案「平成21年度(第6期)事業経過報告および会計決算報告」

第2号議案「平成21年度(第6期)会計監査報告」

第3号議案「平成22年度(第7期)事業計画案および会計予算案」

議長解任

閉会のことば

第5章 総会 (種別) 第21条 この法人の総会は、通常総会及び臨時総会の2種とする。 (構成) 第22条 総会は、正会員をもって構成する。 (権能) 第23条 総会は、以下の事項について議決する。 (1)定款の変更 (2)解散 (3)合併 (4)事業計画及び収支予算並びにその変更 (5)事業報告及び収支決算 (6)役員を選任又は解任、職務及び報酬 (7)入会金及び会費の額 (8)借入金(その事業年度内の収入をもって償還する短期借入金を除く。第50条において同じ。) その他新たな義務の負担及び権利の放棄 (9)事務局の組織及び運営 (10)その他運営に関する重要事項 (開催) 第24条 通常総会は、毎年1回開催する。 2 臨時総会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。 (1)理事会が必要と認め招集の請求をしたとき。 (2)正会員総数の5分の1以上から会議の目的である事項を記載した書面をもって招集の請求があったとき。 (3)第15条第4項第4号の規定により、監事から招集があったとき。 (招集) 第25条 総会は、前条第2項第3号の場合を除き、理事長が招集する。 2 理事長は、前条第2項第1号及び第2号の規定による請求があったときは、その日から60日以内に臨時総会を招集しなければならない。 3 総会を招集するときは、会議の目時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、少なくとも5日前までに通知しなければならない。 (議長) 第26条 総会の議長は、その総会において、出席した正会員の中から選出する。 (定足数) 第27条 総会は、正会員総数の2分の1以上の出席がなければ開会することができない。 (議決) 第28条 総会における議決事項は、第25条第3項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。 2 総会の議事は、この定款に規定するもののほか、出席した正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。 (表決権等) 第29条 各正会員の表決権は、平等なるものとする。 2 やむを得ない理由のため総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について書面をもって表決し、又は他の正会員を代理人として表決を委任することができる。 3 前項の規定により表決した正会員は、前2条、次条第1項及び第51条の適用については、総会に出席したものとみなす。 4 総会の議決について、特別の利害関係を有する正会員は、その議事の議決に加わることができない。 (議事録) 第30条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。 (1)日時及び場所 (2)正会員総数及び出席者数(書面表決者又は表決委任者がある場合にあっては、その数を付記すること。) (3)審議事項 (4)議事の経過の概要及び議決の結果 (5)議事録署名人の選任に関する事項 2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が署名、押印しなければならない。

会費(平成22年4月1日現在)

正会員 (1)入会金 5,000円

(2)年会費 5,000円

URL <http://toshisaigai.net/>

賛助会員(1)入会金 25,000円

(2)年会費 25,000円

【第1号議案】「平成21年度（第6期）事業経過報告および会計決算報告」

1.事業内容

平成21年度（2009年度）のNPO法人都市災害に備える技術者の会の活動は、WG活動の実施、幹事会の発足、市民に開かれた活動を中心に行った。

WG活動の実施

(1) WG-Aの活動

WG-Aは、「まちづくり・教育を考える」活動グループである。西山峰広代表、佐藤裕一先生らを中心として子ども向けの耐震家屋セミナーを定期的あるいは要望に応じて開催され実績を作っている。平成21年9月19日に開催された奈良県王寺町でのセミナー『防災について学ぼう！

大地震 君は生き残れるか』では、佐藤先生が犬の着ぐるみで子どもたちの興味を引きつけながら説明された。



王寺町セミナーのひとつ

(2)WG-B及びWG-Cの活動

WG-B「津波・地震災害軽減を考える」およびWG-C「谷埋め盛土防災を考える」では、一般市民に対してどのように防災情報を伝達し、防災意識を啓発するかということが主テーマとなってきたため、WG-Dと合流して一緒に知恵を出し合うというスタイルで、2ヶ月に一回（原則として偶数月の第一土曜日）に、当NPOの大阪事務所に集結し、議論しかつ会員間の親睦も深めている。

(3)WG-Dの活動

WG-Dは「地域の自主防災活動との連携や支援」、「幼稚園から大学までの出前講座」、「市民や学生を対象とした防災・減災のための教材作り」など、NPO活動として何をなすべきかということを考えながら、いろいろな模索・試行を行っているWGである。

WG-Dでは、平成19年5月に「純技術面から防災・減災教育を行うことにより市民や行政に貢献する」という活動目標を掲げた。最初の活動として、小学生自身の知識向上を期待する他、小学生を通して両親やその周辺の人達への知識や意識の向上を期待すると設定し、そのために必要な活動についてWG内で議論し活動を行っている。

平成21年度の活動としては、読売テレビなどが作成したDVD「ビジュアル版幸せ運ぼう」で紹介されている防災の動画について、技術的な説明が不足している点などを議論し、直下型地震の説明図の作成を行った。



王寺小学校での出前講義の様子

谷埋め盛土関連では、某地域の地震時危険度簡易

判定を行った他、ある行政の建築指導課へのレクチャーなどを行った。出前講義としては、奈良県王寺小学校へ片瀬会員、片岡台幼稚園へ河田のどか・池田早苗さんのグループ、岡山県立新見高校へ太田会員、大阪府松原第六中学校へ片瀬会員が担当して実施したほか奈良市立春日中学校での出前授業も紹介した。

幹事会の発足

WG 活動の活発化などに伴い、当 NPO 定款に示される「一般市民に対して防災・減災に関する活動を行い、安全な地域づくりに寄与する」という目的を、より足回り良く行うことができるよう理事会を補佐する事を目的とする幹事会を発足させることとなった。

平成 21 年 9 月 13 日に室崎理事長、山田事務局長、向井、森田、石川、片瀬、太田、伊藤の 8 名が大阪事務所において設立準備会を開催し、公募により幹事を募集することとなった。幹事会での決定事項の措置は、「幹事会で決定した事項は総会で承認を得るが、1 回 / 年の総会では時間的に待てない場合は理事長、事務局長へ報告、承認を得た後実行に移す。」と定められる予定である。

幹事は、石川、伊藤、太田、片瀬、西山、廣野、山田、森田の 8 名が選任され、山田信祐会員が幹事長となった。平成 21 年 11 月に第一回会議を開催し、現時点で 3 回の会合をもった。なお、幹事会規約等については理事会を経た上で決定される。

市民に開かれた活動

市民向けセミナーを、夏と冬にそれぞれ 1 回ずつ開催した。

(1) 第三回震災対策技術展・自然災害技術展

市民・学生達と考える防災・減災ネットワークづくり(その2) - 市民と行政の絆 -

日時：平成 21 年 6 月 4 日 13:00-16:00

場所：インテックス大阪

基調講演として、関西大学理事で当 NPO の理事・企画委員長の河田恵昭先生に「防災・減災のネットワークづくり」と題してご講演いただいた。続いて、辻誠一氏、西林幸三郎氏、河合のどか氏、向井通彦氏をパネリスト、統括コーディネーターを山田俊満理事・事務局長としてディスカッションが行われた。



(2) 第三回災害対策セミナー in 神戸

都市災害に備えて活動を続けて 15 年 - 防災・減災のためのネットワークづくり -

日時：平成 22 年 1 月 20 日 13:00-17:00

場所：神戸国際会議場

基調講演として、当 NPO 理事長で関西学院大学教授の室崎益輝先生にご講演いただいた。続いて、辻誠一氏、政狩拓哉氏、河合のどか氏、大元守氏をパネリスト、統括コーディネーターを山田俊満理事・事務局長としてディスカッションが行われた。

(3)研修会

近畿地方整備局における防災対策について

講師：近畿地方整備局防災課長 森下淳氏

日時：平成 21 年 7 月 11 日 15:00-16:00

場所：(財)神戸国際協力交流センター

近畿地方整備局森下防災課長に、災害の現状と国交省が進める防災対策についてご講演いただいた。我が国は、国土の約 10%に全人口の 50%が住み、全資産の 75%が存在するため、洪水による危険性が高いことを説明された。また X バンドレーダーによる降雨予測など最新機器の導入についてなどの興味深い話をされ、その後活発な質疑応答が行われた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
災害予防・災害発生後の対策提案	WG-D(防災啓蒙活動)会議	平成21年4月4日から2ヶ月に1回開催	NPO 大阪事務所(新大阪)	約8人	WG-D 会員約8人	-
各種イベントへの参加	WG-C(谷埋め盛土防災)から講師派遣:宅地造成設計・施工研修会への講師派遣;「盛土の耐震設計-設計・工事-」	平成21年6月2日	(財)全国建設研修センター	1人	受講者20人	-
防災・減災対策の研究および啓蒙活動	第23回研修会 第3回「震災対策技術展」大阪;「市民・学生達と考える防災・減災のネットワークづくり(その2) 市民と行政の絆」	平成21年6月4日	インテックス大阪	10人	会員および一般約100人	-
災害予防・災害発生後の対策提案	第24回研修会 「近畿地整の防災への取り組み」	平成21年7月11日	(財)神戸国際協力交流センター	12人	会員15人	-
防災・減災対策の研究および啓蒙活動	第25回研修会;WG-A(教育)イベント;佐藤先生が奈良県王寺町で防災セミナー「防災について学ぼう-大地震!君は生き残れるか-」を開催	平成21年9月19日	奈良県王寺町泉の広場	6人	一般約30人	-
防災・減災対策の研究および啓蒙活動	WG-D(防災啓蒙活動)から講師派遣:片瀬会員が王寺小学校5年生対象に出前授業で「阪神・淡路大震災の様子を聞き、地震への備えを学ぶ会」を講演	平成21年11月5日	奈良県王寺町立王寺小学校	4人	小学生5年生約110人と先生4人	-
防災・減災対策の研究および啓蒙活動	WG-D(防災啓蒙活動)から講師派遣:河田のどか、池田早苗が片岡台幼稚園の園児を対象に出前授業で防災紙芝居「ちゅーたとふしぎなメロンパン」を実演	平成21年11月16日	奈良県上牧町片岡台幼稚園	3人	園児約260人と園長他8人	-
防災・減災対策の研究および啓蒙活動	WG-D(防災啓蒙活動)から講師派遣:太田会員が新見高校で「自然に興味を持っていれば災害は怖くない」を講演	平成21年12月17日	岡山県立新見高等学校	1人	高校2年生74名、1年生40名と先生6名	-
防災・減災対策の研究および啓蒙活動	WG-D(防災啓蒙活動)から講師派遣:片瀬会員が松原第6中学校2年生対象に出前授業で「阪神・淡路大震災の様子を聞き、地震への備えを学ぶ会」を講演	平成22年1月15日	大阪府松原市立第6中学校	3人	中学生2年生約140人と先生4人	-
防災・減災対策の研究および啓蒙活動	第26回研修会 第3回災害対策セミナー in 神戸「都市災害に備えて活動を続けて15年 防災・減災のためのネットワークづくり」	平成22年1月20日	神戸国際会議場	15人	会員及び一般約100人	-

(2) その他の事業

本年度は収益事業は行いませんでした。

平成21年度（第6期）NPO 法人都市災害に備える技術者の会
 会計決算報告書（設立日平成21年4月1日～平成22年3月31日）

(1) 特定非営利活動にかかる決算報告書

(単位 円)

区分	項目	予算	決算	差額	備考
収 入	会費・入会金収入	350,000	390,000	40,000	正会員41名、賛助員6名
	各種イベントの参加費収入	20,000	0	-20,000	
	当日参加費	10,000	0	-10,000	
	DVD参加費	10,000	0	-10,000	
	協賛金（研修会）	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	受託業務	0	0	0	
	(単年度収入)	(370,000)	(390,000)	(20,000)	単年度収入小計
	前年度からの繰越金	2,440,034	2,440,034	0	
	雑収入	1,150	235	-915	利息
収入合計	2,811,184	2,830,269	75,207		

	項目	予算	決算	差額	備考
支 出	事業費	275,000	94,747	-180,253	
	地域安全活動	30,000	0	-30,000	
	災害救援活動	30,000	0	-30,000	
	災害に備えたまちづくりの活動	30,000	5,957	-24,043	WG活動費
	都市防災教育の推進を図る活動	170,000	59,810	-110,190	研修会等
	会場借用料	50,000	0	-50,000	
	印刷費等	40,000	23,400	-16,600	ニューズレター印刷費
	講師謝礼旅費	60,000	20,000	-40,000	会員外の講師(WG-D)への謝礼
	通信費	20,000	13,560	-6,440	会員への便送料
	その他	0	2,850	2,850	手土産代
	受託業務活動	0	0	0	
	前号の活動にかかる費用	15,000	28,980	13,980	グローバル料金(サーバー変更費含む)等
	ウェブサイト費用	15,000	28,980	13,980	
	管理費	210,000	322,970	112,970	
	会議費	10,000	3,240	-6,760	
	旅費交通費	100,000	249,750	149,750	事務局局長東京旅費
	備品等整備費	30,000	0	-30,000	
	消耗品費	10,000	0	-10,000	
	登記手続料	0	57,550	57,550	行政書士費用(理事長名義変更・決算登記)
	交際費	0	0	0	
	支払手数料(事務局費)	60,000	12,430	-47,570	事務諸費用(振込手数料・切手代等)
	予備費	0	0	0	
	支出合計	485,000	417,717	-67,283	
(単年度収支)	-115,000	-27,717	87,283	単年度収入-支出合計	
収益事業からの繰り入れ	0	0	0		
当期収支差額(次年度繰越金)	2,440,034	2,412,552	-27,482		

(2)収益事業にかかる決算報告書

(単位 円)

区分	項目	予算	決算	差額	備考
収 入	書籍・ビデオ・CDの配布収入	0	0	0	
	教材作成業務受託	0	0	0	
	コンサルティング業務の受託	0	0	0	
	教育活動の企画・運営・人材派遣	0	0	0	
	収入合計	0	0	0	

区分	項目	予算	決算	差額	備考
支 出	事業費	0	0	0	
	ビデオ・CDの配布	0	0	0	
	教材作成業務受託	0	0	0	
	コンサルティング業務の受託	0	0	0	
	教育活動の企画・運営・人材派遣	0	0	0	
	管理費	0	0	0	
	プロジェクト管理費	0	0	0	
	備品等整備費	0	0	0	
	消耗品費	0	0	0	
	租税公課	0	0	0	
	支出合計	0	0	0	
当期収支差額		0	0	0	
特定非営利活動へ繰入額		0	0	0	

【第2号議案】「平成21年度(第6期)会計監査報告」

平成21年度(第6期) NPO法人都市災害に備える技術者の会
会計監査報告書


私たち会計監査は、平成21年度(第6期)NPO法人都市災害に備える技術者の会
会計の処理が、適正に実施されているか否かを監査いたしました。その結果、会計
処理は適正かつ正確に行われていたことを下記の通りご報告いたします。

記

- | | |
|-----------|--------------------------------|
| 1. 監査実施日時 | 平成22年 6月3日 |
| 2. 監査帳簿類 | 金銭出納帳
領収書類
預金通帳
決算報告書 |

平成22年 6月3日


監事

鹿田 晴彦 

- | | |
|-----------|--------------------------------|
| 1. 監査実施日時 | 平成22年 6月1日 |
| 2. 監査帳簿類 | 金銭出納帳
領収書類
預金通帳
決算報告書 |

平成22年 6月1日

監事

清水 煌三 

【第3号議案】「平成22年度（第7期）事業計画案および会計予算案」

1.事業計画

本年度は、昨年度に引き続き、会員を対象とした事業および社会に向けての活動を行ってまいります。ご依頼があれば受託業務も実施して参ります。さらに、内閣府・国交省・近畿圏各府県・市や町・市民団体・学生ボランティアなどとのネットワークづくりを行います。平成19年度発足させた「防災・減災ネットワーク推進会議」の活動を進めてまいります。また、WG活動などを通じて地域に根ざした活動を引き続き行うなど、小さな活動から徐々に実績をつけるようにしていきます。

(1)特定非営利活動に係る事業

〔会員向け活動〕

1.研修会

平成21年度に引き続き、概ね3ヶ月に1回割合で研修会を開催します。参加は会員のみならず、一般市民へも呼びかけます。

2.ニュースレターの発行

ニュースレターも年間数回の割合で発行していますが、広く投稿を呼びかけ内容、発行頻度ともに改善していきます。

3.ワーキンググループの活動

個別WG活動を活発化させ、形のある成果を出せるように予算も確保します。

4 幹事会の活動

昨年度立ち上げた幹事会の機能を最大限発揮し、当NPO法人の効率化、活性化を図ります。

〔社会に向けた活動〕

1.ネットワークづくり

前年度に引き続き、行政担当者のみならず、地域の防災リーダーや防災・減災NPO法人などとネットワークを構築していきます。また、必要に応じて他のグループ（法人や任意団体など）同志のネットワーク作りの仲介などにも取り組みます。

2.他団体のイベントへの参加、講師派遣

3.WEBでの広報

前年度同様にイベント案内や報告をホームページやメーリングリストで情報発信するほか、各WGの活動内容も公表します。

(2)収益事業

防災に携わる技術者が、都市の防災・減災にお手伝いできる業務が発注された際には、誠意を持って取り組み、与えられた条件のもとで最大限の成果を挙げられるよう努力いたします。なお、法人市民税に関しては、本年度も昨年度に引き続き、収益事業が開始されていないとの理由で減免申請をしております。

平成 22 年度（第 7 期）NPO 法人都市災害に備える技術者の会
 会計予算案（設立日平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）

（ 1 ） 特定非営利活動に係る会計予算（案）

（単位 円）

区分	項目	前年度実績	予算	備考
収 入	会費・入会金収入	390,000	350,000	
	各種イベントの参加費収入	0	0	
	受託業務	0	0	
	(単年度収入)	(390,000)	(350,000)	単年度収入小計
	前年度からの繰越金	2,440,034	2,422,552	
	雑収入	235	235	利息
	収入合計	2,830,269	2,772,787	

区分	項目	前年度実績	予算	備考	
	事業費	94,747	225,000		
	地域安全活動	0	0		
	災害救援活動	0	0		
	災害に備えたまちづくりの活動	5,957	100,000	WG活動費	
	都市防災教育の推進を図る活動	59,810	105,000	研修会等	
	会場借用料	0	10,000		
	印刷費等	23,400	25,000	ニューズレター印刷費	
	講師謝礼旅費	20,000	50,000	会員外の講師への謝礼	
	通信費	13,560	20,000		
	その他	2,850	0		
	受託業務活動	0	0		
	前号の活動にかかる費用	28,980	20,000		
	ウェブサイト費用	28,980	20,000	プロバイダ料金等	
	管理費	322,970	250,000		
	会議費	3,240	10,000		
	旅費交通費	249,750	100,000	事務局長東京旅費	
	備品等整備費	0	30,000	封筒代・名刺代等	
	消耗品費	0	10,000		
	登記料	57,550	70,000	行政書士費用（決算・役員登記）	
	交際費	0	0		
	支払い手数料(事務局費)	12,430	30,000		
	予備費	0	0		
	支出合計	417,717	475,000		
		単年度収支	-27,717	-125,000	単年度収入-支出合計
	収益事業からの繰り入れ	0	0		
	当期収支差額（次年度繰越金）	2,412,552	2,297,787		

(2)収益事業にかかる会計予算(案)

(単位 円)

区分	項目	前年度実績	予算	備考
収 入	書籍・ビデオ・CDの配布収入	0	0	
	教材作成業務受託	0	0	
	コンサルティング業務の受託	0	0	
	教育活動の企画・運営・人材派遣	0	0	
	収入合計	0	0	

区分	項目	前年度実績	予算	備考
支 出	事業費	0	0	
	ビデオ・CDの配布	0	0	
	教材作成業務受託	0	0	
	コンサルティング業務の受託	0	0	
	教育活動の企画・運営・人材派遣	0	0	
	管理費	0	0	
	プロジェクト管理費	0	0	
	備品等整備費	0	0	
	消耗品費	0	0	
	租税公課	0	0	
	支出合計	0	0	
	当期収支差額		0	0
特定非営利活動へ繰入額		0	0	

役員・企画委員会・事務局名簿(役職) ('10.7)

氏名	所属	理事	監事	企画委員会	事務局
室崎益輝	関西学院大学総合政策学部・教授	●		◎	
笹山幸俊	(財)神戸国際協力交流センター・顧問	■			
梅田昌郎	(株)建設技術研究所・名誉顧問、元(社)日本技術士会・会長	◎		○	
太田英将	(有)太田ジオリサーチ・代表取締役	○		◎	◎
尾見博武	UR都市機構・理事長代理		□ 顧問		
柏原士郎	武庫川女子大学生活環境学部生活環境学科・教授 大阪大学名誉教授	◎		○	
河田恵昭	関西大学理事・環境都市工学部教授 元京都大学防災研究所巨大災害研究センター長・名誉教授	◎		●	
鹿田晴彦	(社)日本技術士会近畿支部建設部会・幹事		○		○
渋谷和久	国土交通省国土計画局広域地方整備政策課長			○	
清水煌三	(社)日本技術士会近畿支部建設部会・幹事		○		◎
高田光雄	京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻・教授	○		○	
溜水義久	(株)八州・代表取締役	◎		◎	
新田保次	大阪大学大学院工学研究科土木工学専攻・教授	○		◎	
三輪泰司	(株)地域計画建築研究所・取締役会長	○		○	
向井通彦	泉南市・市長			○	
森田孝雄	(社)日本技術士会近畿支部建設部会・副部会長	○		○	
山田俊満	(社)日本技術士会・評議員、近畿支部建設部会・部会長	◎		◎	●
石川浩次	(社)日本技術士会近畿支部建設部会・幹事			○	
長手 務	(財)神戸市防災安全公社・理事長			○	
片瀬範雄	元神戸市都市整備公社・専務理事、神戸市土地開発公社・専務理事、(株)バスコ神戸支店技師長			○	◎
伊藤東洋雄	(社)日本技術士会近畿支部建設部会・副幹事長			○	◎
北村友博	(社)日本技術士会近畿支部副支部長				◎
末利鏡意	(社)日本技術士会近畿支部・理事、副会長				◎

(敬称略・順不同)

(役員会: ●理事長、◎副理事長、○理事、■名誉理事長、□顧問)

(企画委員会: ●委員長、◎副委員長、○委員)

(事務局: ●局長、◎次長、○局員)

平成 22 年度の体制

役員等	理事長	室崎益輝
	名誉理事長	笹山幸俊
	顧問	尾見博武
事務局	事務局長	山田俊満
	事務局次長	伊藤東洋雄（統括） 清水煌三（広報） 北村友博（会計） 末利鏡意（会計） 太田英将（会計）
事務所	主たる事務所	兵庫県西宮市すみれ台 3 丁目 1 番地 （有限会社太田ジオリサーチ内） Tel 078-907-3120 Fax 078-907-3123
	従たる事務所	大阪市淀川区西中島 6 丁目 3 - 3 2 第 2 新大阪ビル 3 1 0 号 （太田ジオリサーチ大阪支店内） Tel 06-6886-8715 Fax 06-6886-8751

WG活動

WG略称	テーマ	代表者	活動情報
WG - A	まちづくり・教育を考える	西山峰広	防災カフェなどで子どもたちや一般市民への防災教育を行っています。
WG - B	津波・地震災害軽減を考える	石川浩次	地震情報の収集や、他のイベントへの参加を行っています。
WG - C	谷埋め防災を考える	太田英将	活動を通じて関連ができた自治会などの造成地について危険谷埋め盛土の抽出を行います。今後WG - Dと合同で活動を行います。
WG - D	今後の活動の具体的な活動を考える	伊藤東洋雄	偶数月の第 1 土曜日に大阪事務所において定期的な会合をもち、教育教材の作成などを行っています。他のWGとも連携をとって活動していきます。

WG活動が会員活動の中心になりますので、同じ思いをもつもの同士が新しいWGをつくって活動していただきたいと思います。事務局までご連絡下さい。